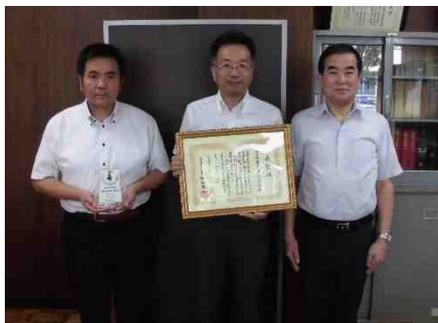


原付バイク通学生全員で安全運転！！

～「優秀安全運転事業所プラチナ賞」を受賞～

熊本県立鹿本商工高等学校



【校長室にて】



【自動車学校での安全運転講習会】



本校では、原付バイク通学生（平成29年度は全67名）の安全運転状況の把握を目的として、毎年度末に原付バイク通学生全員に自動車安全運転センターが発行する「運転記録証明書」の提出を義務づけています。近年、原付バイク通学生の交通違反が減少し平成27年度から3年連続で「優秀安全運転事業所金賞（1回）、銀賞（2回）」を受賞しました。この実績が認められ、今回最も荣誉ある「優秀安全事業所プラチナ賞」を受賞することができました。熊本県内での受賞は3事業所のみで、高校は本校だけでした。

【原付バイク通学生に対する主な取り組み】

- ① 年間2回、プロの教官による安全運転講習会への参加
（近隣2校の自動車学校の協力を得て各校で1回ずつ実施）
- ② 違反・事故発生時に行う「原付バイク通学生集会」
（他者の違反・事故事例をもとに原因を考察し、危険予知能力や危機回避能力を高めることをねらいとして実施）
- ③ 生徒指導部職員による通学路における登校指導
（道路上での実態把握を目的として実施）
- ④ 担任、保護者と連携した安全教育
（担任や保護者との情報の共有、原付バイク通学生保護者会の開催）

上述のように、本校独自のものといえるような特別なことは行っていませんが、日常の指導の中で、生徒たちに加害者側になり得ることを十分に意識するよう促しています。「自らのちょっとした不注意や過失で大切な命を奪った場面」、「目の前で一つの命がなくなる瞬間」、「遺族に対して泣きながら謝罪する自分の姿」、「その瞬間、腹の底から笑うことの出来る人生ではなくなってしまうこと」等、加害者となった時のことをイメージさせています。

「命」について深く考えることで、自らの命も「大切な宝物」という意識が芽生え、安全運転に繋がっていると受け止めています。原付バイク通学はリスクが大きく、心配は絶えませんが、「命の教育」に繋がると信じ、本校の良き伝統として受け継いでいきたいと考えています。